



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 スターティア株式会社

コード番号 3393 URL <http://www.startia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (氏名) 本郷秀之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 経営企画室 長 (氏名) 後久正明

TEL 03-5339-2162

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,296	20.3	88	△24.6	102	△18.0	57	△11.9
23年3月期第2四半期	1,909	25.6	118	—	124	—	65	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 52百万円 (△19.8%) 23年3月期第2四半期 64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.56	11.34
23年3月期第2四半期	3,000.60	2,897.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,281	2,426	73.9
23年3月期	3,439	2,399	69.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,426百万円 23年3月期 2,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.04	4.04

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	17.5	400	46.4	400	43.8	200	54.5	40.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	4,953,400 株	23年3月期	4,953,400 株
24年3月期2Q	51 株	23年3月期	51 株
24年3月期2Q	4,953,349 株	23年3月期2Q	21,668 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ 1 (4) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
・当社は、平成23年11月18日(金)に証券アナリスト・機関投資家・報道関係者向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料は、説明会開催後速やかに東京証券取引所ホームページ(東証上場会社情報サービス)に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以後のサプライチェーンの立て直しなどにより、輸出や生産に持ち直しの動きがみられましたものの、雇用情勢や設備投資は弱い動きとなるなど、先行き不透明な状況の中で推移いたしました。生産活動に持ち直しの動きが見られるものの、電力供給の制約、為替の影響や海外景気の落ち込み懸念など景気の下振れリスクも存在しており、依然として予断を許さない状況にあります。

当社グループが属するインターネット及び情報通信関連業界におきましては、今般の震災の影響により、顧客である企業側のIT関連への設備投資意欲の減退や、ビジネスホンメーカーを中心とした情報通信機器全般におけるサプライチェーンへの打撃もあり、震災前と比較して回復傾向にはあるものの大幅に減少した状況が継続しております。

しかしながらその一方で引続き、新聞や雑誌、テレビなどで電子ブックが取り上げられるなどして注目を浴び、ハード面での環境が整いつつあり、専用サイトも、携帯電話通信事業者、大手印刷会社など業界大手がサービスを開始するなど電子ブック市場の拡大スピードは加速しており、結果として電子ブック作成ソフトの認知度やニーズが市場において急速に拡大成長してきております。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては、目先の利益だけに囚われない中長期に亘る継続的な利益基盤構築に向けて、事業ごとの収益性や成長性を分析し、将来においてどの事業に経営資源を配分するか判断し、サービス提供を通じて継続的な収入が得られるストック型ビジネスへ大きくシフトさせております。売上高におけるストック比率は32.8%まで増加しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,296,710千円(前年同四半期比20.3%増)、営業利益88,991千円(前年同四半期比24.6%減)、経常利益102,213千円(前年同四半期比18.0%減)、四半期純利益57,276千円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

なお、セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(ウェブソリューション関連事業)

当第2四半期連結累計期間におけるウェブソリューション関連事業は、以下の通りであります。

ウェブソリューション関連事業においては、電子ブック作成ソフト「Digit@Link ActiBook(デジタルリンクアクティブック)」(以下「ActiBook」といいます)や「Digit@Link CMS(デジタルリンクシーエムエス)」を始めとしたWebアプリケーションの企画、開発、販売に留まらず、Web制作やアクセスアップコンサルティング、システムの受託開発・カスタマイズといった顧客の売上増大や業務効率アップを目的としたWebアプリケーションに関するトータルソリューションを提供してまいりました。

ActiBookに関して従来どおり基本機能改善やワンオーナーリングマルチデバイス(一度の操作でPC、iPhone、iPad、Android搭載のスマートフォンに対応した電子ブックを作成することができる)への対応に加え、カタログやパンフレット、社内文書の電子化に対応するための機能を強化するため、技術者の採用をはじめとして積極的な投資を行いました。

その結果、ウェブソリューション関連事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高446,572千円(前年同四半期比44.7%増)、セグメント利益(営業利益)33,456千円(前年同四半期比28.0%減)となりました。

(ネットワークソリューション関連事業)

当第2四半期連結累計期間におけるネットワークソリューション関連事業は、以下の通りであります。

ネットワークソリューション関連事業においては、前連結会計年度より継続強化しているマネージドサービスに更に注力し事業活動を行いました。

ネットワーク関連機器に関しましては、企業の設備投資意欲の鈍化が続くなか、ネットワーク関連のハードウェア販売が大きく減少し苦戦した結果となりましたが、ネットワーク機器レンタルサービス「マネージドゲート」が堅調に顧客数を伸ばしました。

ホスティングサービスに関しましては、震災後、企業におけるBCP（事業継続計画）対策への具体的な取り組みや、クラウドサービスへの関心の高まりを受けて、柔軟なサービス提供と新規顧客開拓を強化した結果、SaaS型インターネットファイルサーバー「セキュアSamba」が堅調に顧客数を伸ばし、ストック型サービス基盤が大きく成長しました。

その結果、ネットワークソリューション関連事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高670,580千円(前年同四半期比17.3%増)、セグメント利益(営業利益)61,419千円(前年同四半期比36.2%増)となりました。

(ビジネスソリューション関連事業)

当第2四半期連結累計期間におけるビジネスソリューション関連事業は、以下の通りであります。

ビジネスソリューション関連事業においては、複合機の自社メンテナンスエリア内における販売強化を最優先課題とし、これまで商材別に分けてあった組織から、営業効率の強化や営業組織を販売手法別に再編いたしました。震災の影響によりメーカーからのビジネスホンの供給が不足するなどの状況もあり、エリア内の新規顧客の獲得、ビジネスホンと複合機の同時販売強化を実施すると共に、引き続き技術部門の作業の効率化を図っておりますが、販売部門については、大変苦戦し前期割れと低迷しております。

複合機販売に関しましては、カラー機販売の強化を行い、複合機に係る売上高は前年同四半期比で約1.48倍となり非常に好調に累積稼働台数を伸ばしました。

ソフトバンクテレコム株式会社が提供する電話サービスである、おとくラインの受付案内、登録作業、現地調査等の加入に必要な手続きをソフトバンクテレコムパートナーズ株式会社に代わって行う回線接続受付に関しましては、前期割れで大変苦戦いたしました。

その結果、ビジネスソリューション関連事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,179,556千円(前年同四半期比14.6%増)、セグメント利益(営業利益)9,076千円(前年同四半期比77.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は3,281,837千円となり、前連結会計年度末と比較して157,170千円減少いたしました。その主な内容は、受取手形及び売掛金の増加42,968千円がありましたが、その一方で、現金及び預金の減少235,723千円があったことなどによります。

負債の部は855,134千円となり、前連結会計年度末と比較して184,283千円減少いたしました。その主な内容は、未払法人税等の減少53,906千円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の減少118,400千円があったことなどによります。

純資産の部は2,426,702千円となり、前連結会計年度末と比較して27,113千円増加いたしました。その主な内容は、四半期純利益57,276千円の計上がありましたが、その一方で、株主総会決議による配当金の支払24,766千円があったことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の当第2四半期連結累計期間末残高は1,769,365千円(前年同四半期比46.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは23,927千円の収入となりました（前年同四半期は250,445千円の収入）。その主な内容は、税金等調整前四半期純利益101,837千円の計上や減価償却費86,192千円の計上がありましたが、その一方で、法人税等の支払額103,185千円や売上債権の増加に伴う資金の減少36,834千円や未払金の減少に伴う資金の支出33,120千円があったことなどによるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは116,484千円の支出となりました（前年同四半期は116,083千円の支出）。その主な内容は、固定資産の取得による支出105,694千円があったことなどによるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは143,166千円の支出となりました（前年同四半期は138,515千円の支出）。その主な内容は、長期借入金の返済による支出118,400千円や配当金の支払額24,766千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループでは、顧客満足度の向上を最重要課題と位置づけ、新規商材やサービスの提供だけに留まらず、昨年に引続きワンビリングで提供できるソリューションなどの商材ラインナップを拡充し既存顧客の囲い込みを一層強化するとともに、創業以来最大のストック型サービス拡販の強化年度とし、年次当初より中長期に向けた更なる収益体制の強化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、平成23年5月13日に発表いたしました当第2四半期連結累計期間における連結業績予想よりも売上高、利益共に上方に乖離し好調に推移し計画を上回ったため、平成23年10月25日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしました。

なお、平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の通期連結業績予想につきましては、前回発表(平成23年5月13日公表「平成23年3月期 決算短信」)の予想数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。従いまして、本業績予想のみに全般的に依拠して投資判断を下すことは控えられますようお願いいたします。また、実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,010,103	1,774,380
受取手形及び売掛金	631,457	674,426
原材料及び貯蔵品	21,011	13,061
その他	178,210	191,368
貸倒引当金	△32,333	△38,548
流動資産合計	2,808,448	2,614,687
固定資産		
有形固定資産	97,537	122,185
無形固定資産		
のれん	73,916	53,916
その他	166,590	185,708
無形固定資産合計	240,506	239,625
投資その他の資産	277,937	293,260
固定資産合計	615,981	655,071
繰延資産	14,577	12,078
資産合計	3,439,007	3,281,837
負債の部		
流動負債		
買掛金	291,763	309,595
1年内返済予定の長期借入金	151,800	91,800
未払法人税等	104,935	51,029
賞与引当金	81,263	86,817
その他	268,255	232,891
流動負債合計	898,018	772,134
固定負債		
長期借入金	141,400	83,000
固定負債合計	141,400	83,000
負債合計	1,039,418	855,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,630	777,630
資本剰余金	918,793	918,793
利益剰余金	707,691	739,987
自己株式	△14	△14
株主資本合計	2,404,100	2,436,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,511	△9,694
その他の包括利益累計額合計	△4,511	△9,694
純資産合計	2,399,589	2,426,702
負債純資産合計	3,439,007	3,281,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,909,320	2,296,710
売上原価	819,137	1,085,088
売上総利益	1,090,183	1,211,622
販売費及び一般管理費	972,123	1,122,630
営業利益	118,059	88,991
営業外収益		
持分法による投資利益	48	11,207
受取利息	347	192
引継債務償却益	8,436	4,605
その他	1,520	1,315
営業外収益合計	10,352	17,320
営業外費用		
支払利息	3,719	1,599
株式交付費償却	—	2,498
営業外費用合計	3,719	4,098
経常利益	124,692	102,213
特別利益		
事業譲渡益	—	3,000
特別利益合計	—	3,000
特別損失		
固定資産除却損	340	989
固定資産売却損	397	—
投資有価証券評価損	—	2,387
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,786	—
特別損失合計	2,523	3,376
税金等調整前四半期純利益	122,168	101,837
法人税、住民税及び事業税	56,779	46,617
法人税等調整額	372	△2,056
法人税等合計	57,151	44,560
少数株主損益調整前四半期純利益	65,016	57,276
四半期純利益	65,016	57,276

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	65,016	57,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△5,183
その他の包括利益合計	△40	△5,183
四半期包括利益	64,976	52,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,976	52,093
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122,168	101,837
減価償却費	60,954	86,192
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,101	6,214
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,387	5,554
受取利息及び受取配当金	△647	△642
支払利息	3,719	1,599
持分法による投資損益 (△は益)	△48	△11,207
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2,387
固定資産除却損	340	989
固定資産売却損益 (△は益)	397	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,786	—
事業譲渡益	—	△3,000
売上債権の増減額 (△は増加)	118,820	△36,834
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△807	7,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,375	17,832
未払金の増減額 (△は減少)	△5,574	△33,120
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△350	△196
その他	△6,564	△17,747
小計	284,531	127,808
利息及び配当金の受取額	768	642
利息の支払額	△3,381	△1,337
法人税等の支払額	△44,262	△103,185
法人税等の還付額	12,789	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,445	23,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△100,716	△105,694
固定資産の売却による収入	3,789	—
貸付金の回収による収入	14,000	—
保証金の差入による支出	△4,600	△6,097
保証金の回収による収入	45,178	60
投資有価証券の取得による支出	△66,000	—
事業譲渡による収入	—	3,000
その他	△7,733	△7,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,083	△116,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△149,732	△118,400
ストックオプションの行使による収入	15,465	—
配当金の支払額	△7,488	△24,766
自己株式の処分による収入	3,240	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,515	△143,166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,153	△235,723
現金及び現金同等物の期首残高	1,211,757	2,005,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,207,604	1,769,365

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ウェブソリューション 関連事業	ネットワーク ソリューション 関連事業	ビジネスソリューション 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	308,708	571,584	1,029,026	1,909,320	—	1,909,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	320	47,901	147,982	196,204	△196,204	—
計	309,029	619,485	1,177,009	2,105,524	△196,204	1,909,320
セグメント利益	46,486	45,105	40,482	132,075	△14,015	118,059

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去196,204千円であります。

2 セグメント利益の調整額△14,015千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ウェブソリューション 関連事業	ネットワーク ソリューション 関連事業	ビジネスソリューション 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	446,572	670,580	1,179,556	2,296,710	—	2,296,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	173,168	166,565	339,734	△339,734	—
計	446,572	843,749	1,346,122	2,636,444	△339,734	2,296,710
セグメント利益	33,456	61,419	9,076	103,952	△14,960	88,991

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去339,734千円であります。

2 セグメント利益の調整額△14,960千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。